

参加者募集

開催規模 **バイヤー230社 サブライヤー235社**

募集期間 **4/24月 ▶ 7/14金**
2017 2017

参加料 **64,800円(税込)**

申込方法 <http://www.gotf.jp/>

大交易会

検索

開催スケジュール(予定)

- | | | | |
|-------------|------------------|-------------|--------------|
| 1
目
目 | ◇オープニングセレモニー | 2
目
目 | ◇個別商談会(7商談枠) |
| | ◇個別商談会(7商談枠) | | ◇フリー商談会 |
| | ◇フリー商談会 | | ◇シンポジウム |
| | ◇歓迎レセプション・フードショー | | ◇セミナー |

参加対象(商品カテゴリー)

- ・お米
- ・食品加工品
- ・酒類
- ・青果、農産加工品
- ・調味料
- ・サプリメント、健康食品
- ・鮮魚、水産加工品
- ・お菓子、スイーツ
- ・精肉、畜産加工品
- ・飲料、茶、コーヒー

沖縄



交易会

2017

国際食品商談会



日本最大規模の「食」の国際商談会

開催日時・場所

2017 **11/27月・28火**

10:00~17:00

沖縄コンベンションセンター

- ✦ 食品専門の商談会
- ✦ 個別商談形式
- ✦ webによる事前マッチング



**全国の特産品を沖縄からアジアへ
約20億人の巨大マーケット**

【主催】沖縄大交易会実行委員会

創設会員 沖縄県、沖縄懇話会

正会員 (株)ANA Cargo、(株)沖縄海邦銀行、(株)沖縄銀行、沖縄ヤマト運輸(株)、コザ信用金庫、(株)琉球銀行

準会員 沖縄県農業協同組合、沖縄セルラー電話(株)、那覇空港貨物ターミナル(株)、那覇空港ビルディング(株)、琉球朝日放送(株)、琉球放送(株)

一般会員 ANAホールディングス(株)、イオン琉球(株)、(株)大城組、(株)沖縄コングレ、(株)沖縄タイムス社、沖縄テクノクリート(株)、沖縄テレビ放送(株)、沖縄電力(株)、沖縄日通エアカーゴサービス(株)、沖縄ビル管理(株)、オリオンビール(株)、(株)金秀本社、久米島製糖(株)、(株)サンエー、大同火災海上保険(株)、(株)大米建設、拓南製鐵(株)、(株)とみや商会、(株)仲本工業、南海海運(株)、日本航空(株)、(株)ラジオ沖縄、琉球海運(株)、(株)琉球新報社、琉球セメント(株)、琉球通運(株)、琉球物流(株)、(株)りゅうせき

協力会員 (一財)沖縄観光コンベンションビューロー、沖縄経済同友会、(一社)沖縄県銀行協会、(一社)沖縄県経営者協会、(公社)沖縄県工業連合会、(公財)沖縄県産業振興公社、沖縄県商工会議所連合会、沖縄県商工会連合会、沖縄県情報通信関連産業団体連合会、沖縄県中小企業家同友会、沖縄県中小企業団体中央会、沖縄振興開発金融公庫(独)中小企業基盤整備機構沖縄事務所、内閣府沖縄総合事務局、(独)日本貿易振興機構(JETRO)沖縄貿易情報センター

運営 沖縄大交易会実行委員会事務局(公益財団法人 沖縄県産業振興公社内)

(五十音順)

お問い合わせ

沖縄大交易会2017
マッチングデスク(担当/阪田・福本)

〒541-0058 大阪市中央区南久宝寺町3-1-8 MPR本町ビル10階 (株式会社JTB西日本 法人営業大阪支店内)
TEL06-6366-6135 (土・日・祝日を除く平日9:30~17:30) E-mail: okinawa-daikouekikai@beepro.co.jp

日本全国の特産品を沖縄から世界へ



沖 縄大交易会とは、東アジアの中心に位置する沖縄の地位的優位性と沖縄国際物流ハブのネットワークを活用し日本各地の特産品等の販路拡大を目的に開催される「国際食品商談会」です。

香港・中国・台湾・シンガポール・タイ等、日本産農林水産物・食品の販路創出が見込める国や地域および、日本国内の優良バイヤーを招聘して質の高い個別商談会を実現させた、日本最大級の商談会です。

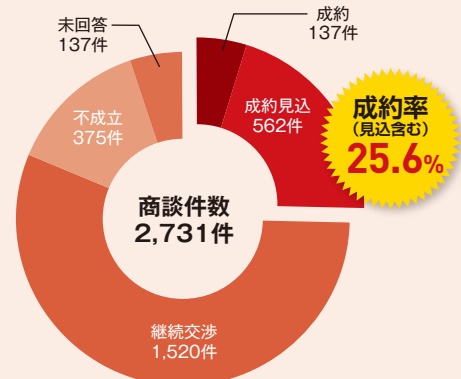
昨年度の開催実績

沖縄大交易会は日本全国より集めた選りすぐりの食材を、事前に Web マッチングを通して、国内外の優良バイヤーとの商談希望をプログラムする事により、高い成約率を誇っています。

サプライヤー 41都道府県より**261社**のご参加

バイヤー 15の国と地域から**224社**のご参加

高い成約率 商談件数**2,731件**
成約**137件** 成約見込**562件**



〔商談直後のバイヤー評価アンケート〕

成功事例

事例1 展開の難しい中国市場への成功事例

大交易会をきっかけに、中国大手企業と商品開発及びパッケージ等の共同開発を長期に渡り行い、これまでにない大量規模の商談を成功させた。県産黒糖は品質は良いが安定供給に乏しく、他の有望原料とコラボした加工品（抹茶・生姜・チョコレート、他）を開発し、大量化&安定化を実現し、ハードルの高い中国市場展開に成功。その他の商品についても商談継続中で更なる拡大が期待できる。

有望原料の調達も大交易会に出店したサプライヤー同士で抹茶やチョコレートの供給先を見つけ、商品開発に繋げることができた。

事例2 ホテル業界の側面サポートによる成功事例

県内ホテル業界が大交易会を後押しするために実施する『レストランフェア』をきっかけに取引拡大を実現。県内ホテルが大交易会参加企業の商品や素材を活用し、レストランにて提供する等、大交易会本番前後に2か月間ほど県民に周知する目的にフェアを開催。その仕入れをきっかけに定番商品として取引が成立し、販路拡大に成功。現在も取引継続中。

24時間対応可能 沖縄国際物流ハブを活用して特産品をアジアへ

深夜出発・翌朝到着で高速物流を実現

日本全国の特産品を新鮮な状態で海外へお届けします。

【香港例】羽田から香港まで所要時間 約6時間30分

羽田空港発
00:00

那覇空港着
02:35

荷物
積み替え

那覇空港発
05:00

香港空港着
06:30

沖縄国際物流ハブ
の強み

リードタイム短縮

鮮度保持

小口配送

◎地理的優位性
主要都市へ4時間圏内

◎24時間運用体制の那覇空港
高いダイヤ設定の自由度

◎滑走路増設計画
2,700mの滑走路が2019年完成予定

◎国内第2位のネットワーク
羽田に次ぐ33拠点

◎空港後背地の存在
那覇自由貿易地域・那覇港の活用

◎豊富な人材
高い外国語対応力、豊富は若年労働者